





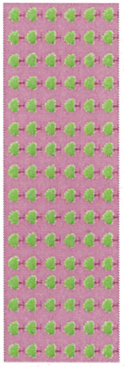
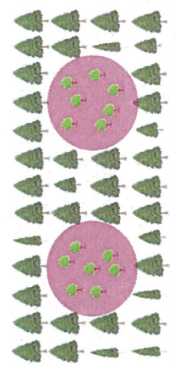
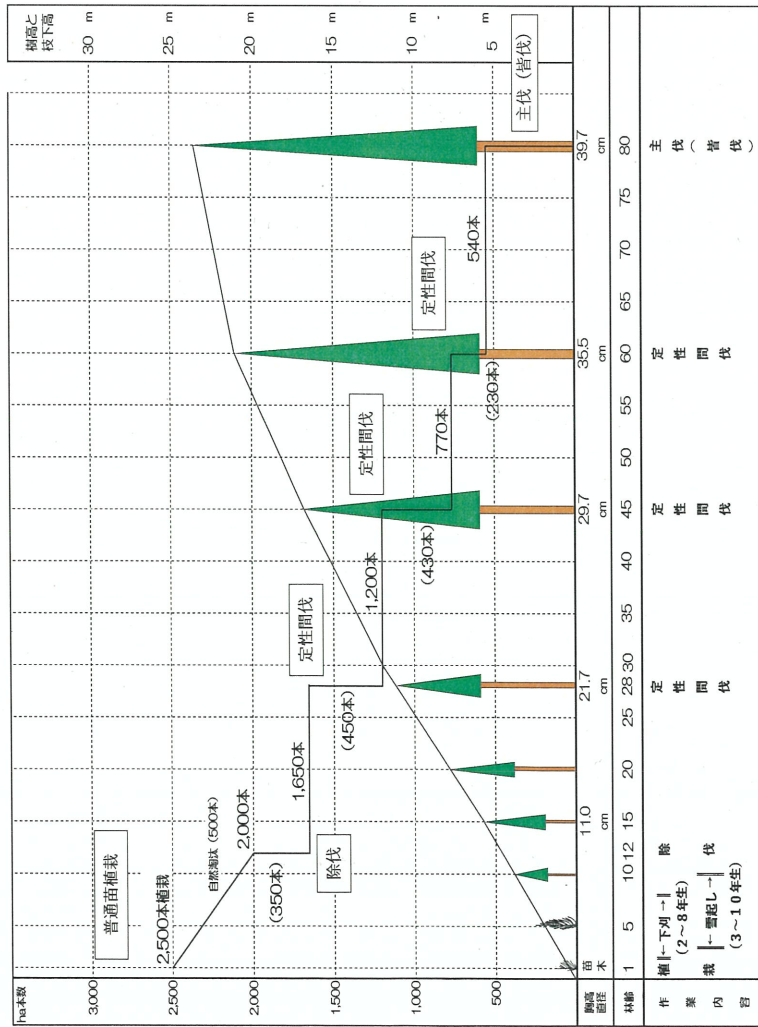
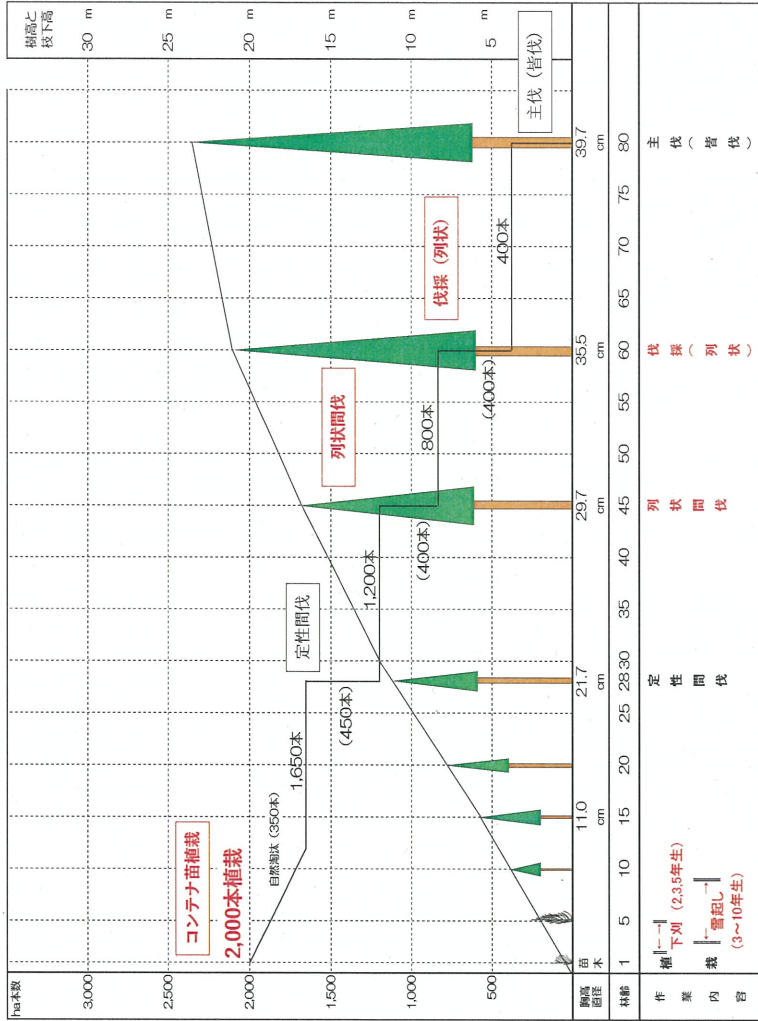


| 主伐の方法 | | 間伐の方法 | |
|------------|--|---|---|
| 資源循環 の森 | <p>択伐</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抜き伐りを繰り返す 長伐期施業 ※おおむね120年生以上 | <p>用材に適した木を抜き伐り</p>  | <p>定性間伐</p> <p>木の形質に重点をおいて伐採</p>  |
| | <p>皆伐・再造林(スギ等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・80年生程度で伐採 | <p>皆伐してスギ等を植栽</p>  | <p>列状間伐</p> <p>木の形質に関係なく伐採 (例: 4残2伐)</p>  |
| 環境保全 の森 | <p>更新伐(群状・帯状)・再造林(スギ等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・50～90年生で伐採 | <p>帯状に伐採しスギ等を植栽</p>  | <p>列状間伐</p> <p>木の形質に関係なく伐採 (例: 4残2伐)</p>  |
| | <p>皆伐・再造林(広葉樹)</p> <p>更新伐(群状・帯状)または小面積皆伐・天然更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ※天然更新は一定の基準を満たす必要あり ※保安林は天然更新不可 | <p>皆伐して広葉樹を植栽</p>  <p>群状に伐採し天然更新</p>  | |

【 現 行 】



【 今 後 】



(単位：千円/ha)

| 区分 | 森林施業の見直し | | | 収 支 | | |
|------|-----------|----------------|-----------------|---------|--------|--------------|
| | 現行 | 今後 | 差額 (B) - (A) | 現行 (A) | 今後 (B) | 差額 (B) - (A) |
| 保育等 | 植栽本数 | 2,500本/ha | 2,000本/ha | △ 1,534 | △ 782 | 752 |
| | 苗木 | 普通苗 | コンテナ苗 | | | |
| | 下刈 | 7年間 (2~8年生) | 3年間 (2~3年生、5年生) | | | |
| 素材生産 | 伐採方法 | 定性 (45年生・60年生) | 列状 (45年生・60年生) | 371 | 1,341 | 970 |
| | 運搬距離 (B材) | 170 k m | 20 k m | | | |
| 合計 | | | | △ 1,163 | 559 | 1,722 |

森林境界等の現状と懸念事項

森林境界・所有の問題

- ・森林所有者の森林に対する関心の低下に伴い、相続登記の放置などで、所有者不明の森林の増加が懸念

森林の所有構造の問題

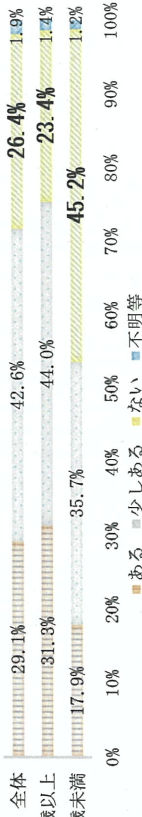
- ・小規模・分散的な所有構造が原因で、合理的な森林管理・施業が困難

将来に亘り、
適正な森林管理・施業の実施が困難

① 森林所有者に対するアンケート結果 (H31.4月 福井県調査「森林所有者の意識に関する調査」)

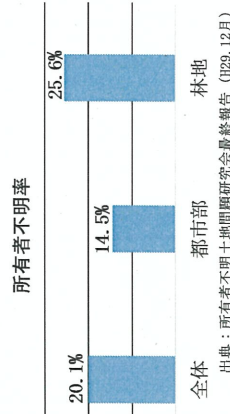
- ・森林に関心のない森林所有者は26.4%。60歳未満の若い所有者にあっては45.2%と高い。

問：森林に関心はあるか。



② 所有者不明森林の現状

- ・所有者不明土地を地帯別にみた場合、林地が25.6%と最も高い。
- ・所有者不明土地問題研究会では、2020年～2040年に発生する土地相続のうち、27%～29%が相続未登記になると予想

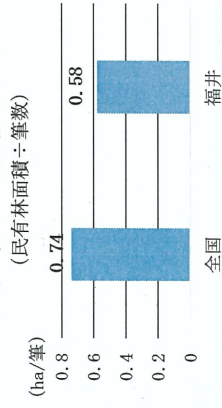


③ 所有山林の現状

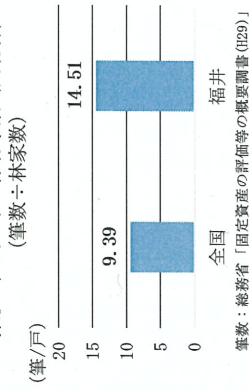
- ・山林一筆当たりの面積は0.58haと小規模
- ・林家1戸当たりの山林の保有筆数は14.51筆であり、全国平均 (9.39筆) に比べ、約5割多い。

⇒ 小規模・分散的な所有構造

山林一筆当たりの面積 (民有林)



林家1戸当たりの保有筆数 (民有林)



今後の対応

[A] 所有者不明森林の増加を抑制

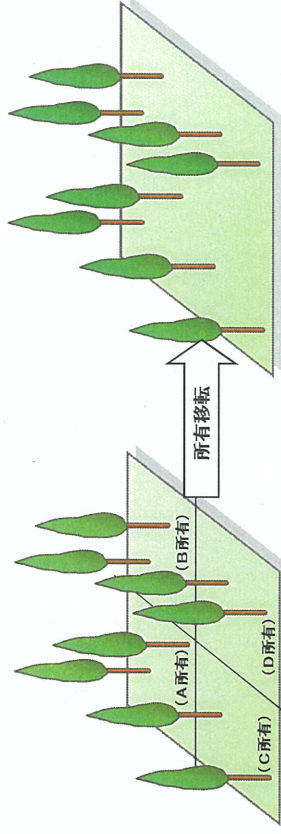
所有放棄・所有不明となる恐れのある森林
⇒ 持続的に森林管理ができる者に所有を移転・集約

[B] 小規模・分散的な所有構造を改善

⇒ 所有者単位で所有を集約

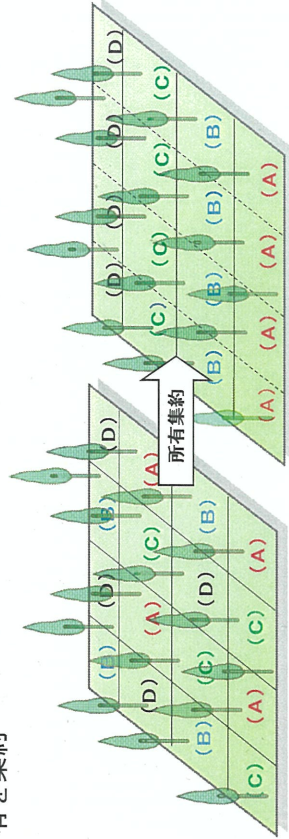
[A] 所有者不明森林の増加を抑制

所有放棄・所有不明となる恐れのある森林について、将来に亘り、持続的に森林管理ができる者に所有を移転・集約



[B] 小規模・分散的な所有構造を改善

小規模・分散的な所有構造を交換等の手法により、所有者単位で所有を集約



[参考資料4]

県内事業体育成のモデルケース

〈現状〉

| | |
|-----------|---|
| 素材生産量 | 3,000 m ³ |
| 主伐 | 0 m ³ |
| 間伐 | 3,000 m ³ |
| 森林作業道開設延長 | 7,000 m |
| 施業地数 | 6 箇所 |
| 1施業地の生産規模 | 500 m ³ /施業地 |
| 素材生産性 | 3.8 m ³ /人日 |
| 主伐 | — m ³ /人日 |
| 間伐 | 3.8 m ³ /人日 |
| 従業員数 | 4 名 |
| うち森林作業道 | 1 名 |
| 平均従事日数 | 260 日 |
| 平均年収 | 300 万円 |
| 事業収益 | 21 万円 |
| 保有機械 | 無し |
| 作業システム | 路網開設… バックホウ(レンタル) 伐倒……チェンソー 集材……グラブ(レンタル) 造材……手造材 搬出……フォワーダ(レンタル) |

〈ステップ1〉

| | |
|-----------|---|
| 素材生産量 | 5,500 m ³ |
| 主伐 | 0 m ³ |
| 間伐 | 5,500 m ³ |
| 森林作業道開設延長 | 13,000 m |
| 施業地数 | 10 箇所 |
| 1施業地の生産規模 | 500 m ³ /施業地 |
| 素材生産性 | 6.0 m ³ /人日 |
| 主伐 | — m ³ /人日 |
| 間伐 | 6.0 m ³ /人日 |
| 従業員数 | 5 名 |
| うち森林作業道 | 1.5 名 |
| 平均従事日数 | 260 日 |
| 平均年収 | 400 万円 |
| 事業収益 | 147 万円 |
| 保有機械 | フォワーダ(補助) 1台 グラブ 1台 バックホウ 1台 |
| 作業システム | 路網開設… バックホウ(一部レンタル) 伐倒……チェンソー 集材……グラブ 造材……プロセッサ(レンタル) 搬出……フォワーダ |

〈ステップ2〉

| | |
|-----------|---|
| 素材生産量 | 7,200 m ³ |
| 主伐 | 1,400 m ³ |
| 間伐 | 5,800 m ³ |
| 森林作業道開設延長 | 17,000 m |
| 施業地数 | 14 箇所 |
| 1施業地の生産規模 | 500 m ³ /施業地 |
| 素材生産性 | 7.9 m ³ /人日 |
| 主伐 | 10.0 m ³ /人日 |
| 間伐 | 7.5 m ³ /人日 |
| 従業員数 | 5 名 |
| うち森林作業道 | 1.5 名 |
| 平均従事日数 | 260 日 |
| 平均年収 | 550 万円 |
| 事業収益 | 270 万円 |
| 保有機械 | プロセッサ(補助) 1台 フォワーダ(補助) 1台 グラブ 1台 バックホウ 2台 4tトラック 1台 |
| 作業システム | 路網開設… バックホウ 伐倒……チェンソー 集材……グラブ 造材……プロセッサ 搬出……フォワーダ |